

2014年（平成26年）2月8日（土曜日）

ケーキとサブレできた

会 婦 人 会
新 商 品 開 発

アメッコ市会場で販売

大館市

大館市の釈迦内婦人会
（小田壽子会長）が釈迦

内地区で収穫されたヒマワリの種や食用油を使ったシフォンケーキとサブレを開発した。同市のしむらお菓子教室（篠村勉代表）と共同開発したもので、8、9の両日に開かれるアメッコ市の会場で限定販売する。

ヒマワリの種や油を使用



同婦人会は、これまでに「ひまわりアイス」や「ひまわり茶」といった商品を開発しており、地域を挙げて取り組んでいる釈迦内サンフラワープロジェクトを盛り上げようと新商品開発に着手。同プロジェクトに取り組

む釈迦内小児童の頑張り
に共感した同地区出身の
篠村代表が婦人会の依頼
を受けて協力した。
シフォンケーキ「So
leil（ソレイユ）」
は、フランス語でヒマワ
リの意味。材料には、ロ
ーストしたヒマワリの種

「レ」はヒマワリの花をイ
メージして作られてお
り、中心にヒマワリの種
を埋め込む工夫が施され
ているほか、卵、バター、
アーモンドなどを使用
した甘くて香ばしい仕
上がりになっている。
小田会長は「子どもた

釈迦内婦人
会としてのむ
らお菓子教
室がシフォ
ンケーキと
サブレを共
同開発した
……..
をすり鉢で粉
状にしたも
の、児童たち
が作ったヒマ
ワリ油のほ
か、アーモン
ド、オレン
ジ、バターな
どが使われて
おり、しっと
りふわふわの
食感が楽しめ
るという。
また、「ひ
まわりサブレ

ちの頑張りを広めること
で地域を盛り上げるとこ
もに、会員の生きがいにな
ればと新商品開発に取り
組んできた。「ヒマワ
リ」といえば釈迦内とい
うイメージをより多くの
人たちに知ってもらえる
機会になればと思う。今
後も子どもたちと婦人会
の協力関係を保った活動
を続けていきたい」と話

していた。
アメッコ市当日は、新
町交差点側に販売デント
を設置し、同婦人会員ら
のほか同校4、6年生約
50人が2日間限定でケー
キ40個（カットサイズ1
60個）、サブレ180
個を販売する。値段はケ
ーキ1千円（カットサイ
ズ150円）、サブレ1
00円。